

令和 5 年 8 月 23 日
小金井市自立支援協議会資料

(田無特別支援学校を令和 3 年に卒業した保護者が、PTA 広報誌で在校生保護者に寄せた文です)

【進路を決定するにあたって、後輩保護者へのメッセージ】

《重度重複児で「生活介護事業所」を希望》：小金井市在住

○3 年間でわかったこと：

居住市によって、事業所の数や余裕、内定時期に大きな違いがあるのがわかりました。データではわかっていましたが、実感としてよ～くわかりました。地域格差って凄いですね。

○経験してみて感じたこと

3 年生になり、市内 2 ヶ所で実習し、どちらも実習評価で「適している」をいただき、当然入れるものと思いましたが、定員超過のため希望先には入れませんでした。娘はその結果が分からず(重度障害児あるある:難しいことはわからないし、ただありのままを受け入れる)、新たな実習をむしろ楽しんでいました。親の方が余計なことを考え、後悔や心配ばかりして、3 キロ痩せるほど心身共にキツかったです。今思うと、3 年生での 3 度(人によって回数は様々)の実習を通じて、子どもが新たな場所で居場所を見つけたり、自信をつけることが出来たことが、とても良かったと思います。親が思っている以上に、子どもはこれまでに学校や放課後等デイサービスで、社会性を学んでいたんだと気がつきました。

これまでに関わってくださった先生方や支援者の皆様のお陰だと本当に感謝しています。

余談ですが、

実は、今年度小金井市在住の方で、小金井市内生活介護に決まらなかった 3 年生が 2 人(3 人中)います。○○(生徒名)は隣の府中市の生活介護施設に何とか決まりました。自宅までの送迎は事業所のご厚意によるものです。昨年度までは、セーフティネット的に市立の事業所が何とか全員受け入れをしてくれていましたが、今年度からそれがなくなり、早々に受け入れを断られ、途方に暮れた 2 人のうちの一人がうちです。断られたときは、本当に絶望しかありませんでした。娘の前向きな(分からないからこそ)姿勢に背中を押されました。その気持ちに向き合って、前向きに親子で対処できたことは、私としても、今後の大きな力となると思います。

いろいろありましたかが、子どもに教わるが多かった一年でした。私自身成長できたように思います。

(原文ママ：名前のみ一部加工)